令和　5　年度　理　科　シラバス

科　目	科学と人間生活	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	1学年･全クラス
使用教科書	科学と人間生活（実教出版）				
補助教材等	アシスト科学と人間生活　新訂版（実教出版）				

1　学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

(2)　観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

(3)　自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める

2　学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて関心を持つように心がけよう。

○アシスト科学と人間生活を使って問題を解き、学習したことを復習しよう。

○元素記号やイオン式など理科独自の方法を使って自然の物質を表現できるようになろう。

○定期考査前には、プリントやアシスト科学と人間生活を使って復習しよう。

3　学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し，見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。
主な評価方法	・定期考査 ・アシストの提出 ・プリントの提出	・定期考査 ・アシストの提出 ・プリントの提出 ・実験レポートの提出	・アシストの提出 ・プリントの提出 ・実験レポートの提出

４　学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単　元	教　　材	時数	学　習　内　容	評　価　規　準
4 5 6	物質の構成 物質の構成粒子	アシスト科学と人間生活	20	・物質 ・原子分子	・定期考査 ・アシストの提出状況・内容 ・実験レポートの提出状況・内容 ・プリントの提出状況・内容
7 8 9 10 11	イオン 粒子の結合 原子量・分子量・式量・物質量 溶液の濃度	アシスト科学と人間生活	28	・イオン ・粒子の結合 ・原子量・分子量・式量・物質量 ・溶液の濃度	・定期考査 ・アシストの提出状況・内容 ・実験レポートの提出状況・内容 ・プリントの提出状況・内容
12 1 2 3	化学反応式とその量的関係 物質の科学 生命の科学	アシスト科学と人間生活	22	・化学反応式 ・物質の科学 ・生命の科学	・定期考査 ・アシストの提出状況・内容 ・実験レポートの提出状況・内容 ・プリントの提出状況・内容